府中市議会議員として 3期10年 実績と情熱で 府中から東京の

明日を切り拓く

あ す か さん

日々の活動を配信中! フォローをお願いします!









増山あすか ホームページ asuka-masuyama.com



そ心

プロフィール

1977年 12月生まれ(46歳)

1996年 国際基督教大学高等学校(ICUHS)卒業

2000年中央大学 法学部 法律学科 卒業 大学卒業後は、マニュライフ生命保険や ソフトバンク等で法務の仕事に従事。

のちに、政治を志し、TOKYO自民党政経塾 第9期生として卒業。

2015年 府中市議会議員 初当選(3,033票) 以来3期連続当選(3期目3,443票) 府中市議会では、議会運営委員長をはじめ、 各種委員会の委員長を歴任。

稲城・府中墓苑組合議会では議長を務める。 自衛官募集相談員。

> 歴 史 が 来 が 息 芽 を 吹 さ ら 前

ともに未来をつくる「チーム府中」は、△

府中を前に進めるために、増山あすかさんを強力にバックアップします!/

急逝された鈴木きんじ前都議の志を 引き継いで立ち上がってくれた増山 あすかさん。女性の目線で府中と都 政をつなぐ確かなパイプ役として、 即戦力の大活躍を確信します!





混沌として先の見えない難しい時代。 優しく人に寄り添い、小さな声に耳を 傾け、広い視点で政策を立案する増山 あすかさん。この姿勢が東京と府中の 発展に必要です。

当ししあずかさんが必要です! 府中の未来のため



横田 実(市政会会長)



松村 祐樹(市政会幹事長)



比留間利蔵(市政会)



佐藤 新悟(市政会)



秋山 としゆき(市政会)



大室 はじめ(市政会)



宮田 よしひと(市政会)

東京都政に臨む増山あすかの決意は裏面へ

実績と情熱で、府中から 中日 しし あ す 力



府中市議会議員として3期 9年間、立候補時に掲げた 基本理念、「8つの約束」 (詳細は紙面下部に記載)に 基づき、市民の生活向上に 向けた政策提言に取り組ん

でまいりました。

市民の皆さんと対話を 重ね、要望や課題を整理 した改善提案の多くは、 府中の発展に寄与して きたと自負しています。





しかし、府中市単独では解決が難しい課題や事業があります。市民の皆さんとの「8つの約束」を果たすためには、8兆円という大きな予算を持つ東京都の議会に、府中市民の声を届け、

改革を提言することが

必要です。

「府中から東京の明日を切り拓く」 という大きな夢を「チーム府中」、 そして市民の皆さんとともに、 実現してまいります。

増山あすれ



増山あすかの主な政策と都議会議員の役割

府中に選ばれた代表として **府中特有の課題を解決する**

[役割]

府中の課題に専心して

東京都全体の課題を解決する

分倍河原駅と周辺道路の 早期改良

> 府中基地跡地の 早期整備

中心市街地(府中駅周辺)の 活性化

> 踏切事故をなくすための 府中市内の京王線 立体化(地下化)事業

中河原駅前の横断歩道整備

無電柱化の推進

シルバーパス(70歳以上)の ちゅうバスへの適用

減少する生産緑地の保全地産地消の促進

都道3・4・3 (多摩川北側) 3・4・12 (人見街道北側) 早期着手

















女性の健康分野

家事、育児、仕事と、たくさんの役割をこなす現代の女性たち。心と体の健康を維持することが一番重要です。バイオリズムによって揺らぐ女性の体をしっかりサポートしていきたい。今まで話題とならなかった女性ホルモン、更年期について、正面から課題として取り上げていきます。

学校の屋外プールの 熱中症対策

夏は暑すぎて授業中止が続く屋外プール。 民間の屋内プールや複数校共有して使える 屋内プールを建設し、1年を通じて確実に 水泳授業を確保します。

狭い部屋に押し込まれている 学童の環境改善

共働き家庭が増え、200人を超える生徒が 学童を希望する現代、学童施設は生徒で パンパンです。放課後は誰も使っていない 学校教室を上手に活用できるよう縦割り 行政を打破します。

介護を担う人の サポート体制

ある日突然、親・兄妹・親戚の介護を担う日が来るかもしれません。難しい介護保険・サービスをもっと分かりやすく、使いやすく、介護者に寄り添った体制をつくります。



- 1.安全で生き生きとした助け合える街づくり
- 2.健康寿命を伸ばすための制度づくり
- 3.子どもの幸福のための制度づくり
- 4.働く女性のための制度づくり
- 5.商工業の振興、地産地消の促進
- 6.災害に強い街づくり
- 7.緑豊かな自然の保護
- 8.未来を見据えた公共交通の充実